

わかやま癒しの ローカル線

より速く、より遠くへ。

たくさんの人々と物資を運ぶ二筋の鉄のハイウェイ。

この目的を果たすため、

鉄道は都市から都市へと休む間もなくその根を広げ続けた。

鉄道本来の目的がそうしたものだとする。

和歌山には少々風情の異なるローカル線が、

人と人の心を繋ぐようにゆったりと根をおろしている。

人々の夢や思いを未来へと繋ぐために進化を続ける鉄道。

街中の小さな路地を枕木で巡る散歩道のように流れる鉄道。

癒しを求める人々を、心の聖地へといざなうために、

険しい断崖を巡礼者のように清らかに進む鉄道。

個性豊かなローカル線が自ら演じるべき役割を爽やかに、

時に頑固に演じ続けながら、

今日も人々とゆったりと会話を楽しんでいる。